

## アットホームカップ 2025 第 23 回インディペンデンスリーグ全国大会

中国・岡山 松本 隼翔

【開催期間】 2025 年 11 月 17 日 (月) ~11 月 21 日 (金)

【開催場所】 清瀬内山運動公園サッカー場

赤羽スポーツの森公園競技場

【参加審判員】 北海道 大町 悠馬、鈴木 辰汰

東北 生駒 創史、佐野 颯亮

北信越 岩瀧 紫生

関東 糸井 太陽

東海 渡邊 彪斗

関西 行澤 謙、中川 航

中国 松本 隼翔、小澤 陸央

九州 松本 侑翔

計 12 名

【JUFA INS】 青山 健太 氏、赤阪 修 氏、大柿 拓馬 氏

【JFA MG】 西村 雄一 氏、村上 伸次 氏 (1 回戦・2 回戦のみ)

### 【研修テーマ】

成功は約束できない、成長は約束する

— 協力と感謝を通じてつながりを深め、リーグを通じて総合的に成長する

### 【研修日程】

11 月 17 日

担当審判員集合、プラクティックカルトレーニング、

大柿氏-セッション 1、赤坂氏-セッション 2

11 月 18 日 (1 回戦)

12:30 kickoff 阪南大 B vs 高知大学 A AR1

事象振り返り・映像分析

赤坂氏セッション

11月19日（2回戦）

12:30 kickoff 新潟医療福祉大学 vs 日本体育大学 U-22A R

事象振り返り・映像分析

赤坂氏セッション

11月20日（準決勝）

11:30 kickoff 大阪体育大学 vs 静岡産業大学 U-22A 4th

振り返り

現地解散

### 【振り返り】

11月17日

#### セッション1；大柿氏

- ・スポーツクリエイティブについて  
表裏なく一貫していること、スポーツするための前提条件
- ・自立したサッカー審判員として活動していくには、周りに流されずに自分の目でしっかり判断すること。また、審判は公平さや信頼が求められる立場だからこそ、投稿する内容やSNSの使い方には少しだけ慎重になることで、自分を守ることにもつながと感じた。

#### セッション2；赤阪氏

- ・プラクティカルTR  
「ショート・シンプル・クリア」に伝える  
～「ショート・シンプル・クリア」のことを意識することによって、必要なことだけを落ち着いて伝え選手も安心してプレーできる。お互いがスムーズに関わり合えると感じた。
- ・リーグの位置づけについて  
仲間・合宿・大学生公式戦・集大成・成長

11月18日（1回戦）

#### セッション；赤阪氏

1回戦 映像分析

- ・反則があった場合には、勇気をもって笛を吹き「ショート・シンプル・クリア」に

判定に対して選手に伝え、試合の進行をする。

11月19日（2回戦）

新潟医療福祉大学 vs 日本体育大学 U-22A；主審 INS;大柿氏

（自身の振り返り）

- ・1試合を通しての走力とスプリント力を活かせた走りができた。ポジショニングでは、ロングカウンターやショートカウンターに合わせた位置を取りができ判定をすることができた。
- ・ファールかどうかの判断が少し遅れてしまった。

（JFA;西村氏）

- ・プレーに合わせて頭の切り替えをしていくこと。まずはボールと攻撃の選手の動きをしっかり見て、今どんな状況なのかをつかむ。次に、守備の選手がどこから寄せてきそうか、これから何が起きそうかを予測しながら視線を切り替えていく。

11月20日（準決勝）

- ・4thとして、主審・副審のサポートも、ただ見ているだけじゃなくて、トラブルの予兆やベンチの空気を早めにキャッチすることが大事だと気付けた。選手交代やベンチ対応は一つひとつシンプルだけど、試合の流れを止めないように丁寧に進めることができ意外と難しく、常に落ち着いて動く意識が必要だと思った。

### 【感想】

今回、インディペンデンスリーグ全国大会の1回戦から準決勝まで派遣していただき、本当に大きな経験になりました。この大会で大学サッカー生活を終える選手もいる中、その試合に審判として関われたことをとても誇らしく感じました。

また、地域を代表するチーム同士の試合は強度も高く、その中で審判として学ぶことがたくさんありました。

研修会の中で特に印象に残ったのは、「審判は試合を進行させる役割を持っている」という言葉です。笛ひとつで試合を止めたり、続けさせたりできる立場だからこそ、試合をスムーズに進めるためにも“ショート・シンプル・クリア”を意識して伝えることの大切さを深く実感しました。

この経験を地域に戻って還元し、自分のレベルアップに繋げていきたいです。

スポーツマネジメントの皆さん、インストラクターの皆様、審判員の皆様、貴重な体験をさせて頂き本当に感謝しております。



集合写真



新潟 対 日大 主審



兄弟で参加